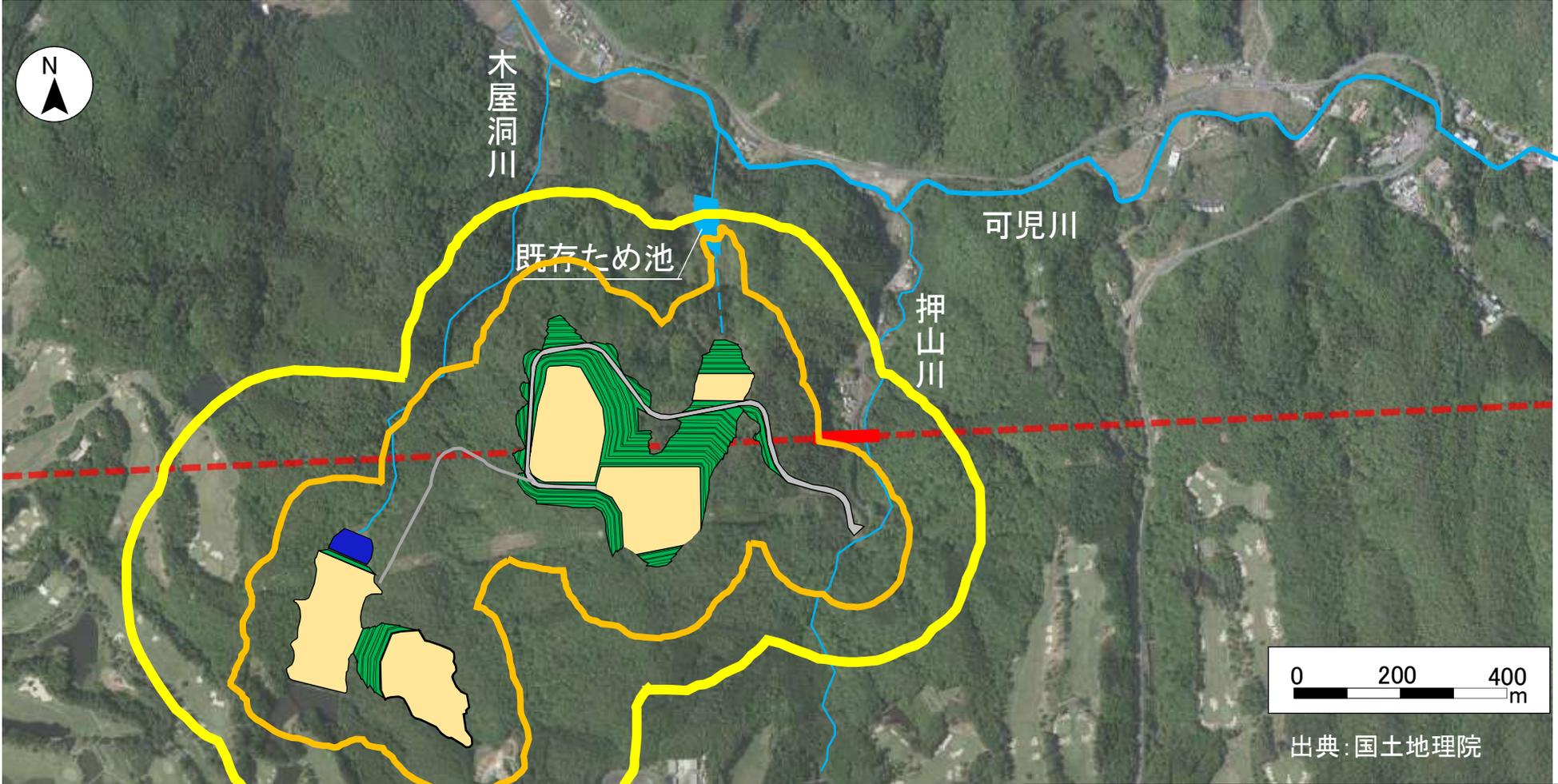


- ・中央新幹線の本線及び車両基地等の環境影響評価は、平成26年8月に国土交通大臣及び岐阜県知事の意見を踏まえた環境影響評価書をとりとまとめ、法律に基づいた手続きが完了しました。
- ・環境影響評価書において、発生土置き場を新たに当社が計画する場合には、別途環境保全の内容の調査及び影響検討を実施することとしていました。
- ・候補地A及び候補地Bについても、自然環境への影響の検討を以下のとおり実施しております。

- ① 文献調査(環境省レッドリスト、岐阜県レッドデータブック、御嵩町版レッドデータブック等より重要な種を選定)
- ② 現地調査(H24~25、H27~28、R3~4に、専門の調査会社に委託し実施)
- ③ 重要な種の確認
- ④ 影響検討
- ⑤ 環境保全措置検討

動植物の現地調査の範囲



- <凡例>
- : 植物の調査範囲(改変範囲から100m)
 - : 動物の調査範囲(改変範囲から250m)

出典: 国土地理院

現地調査の結果、調査範囲内に、以下の重要な種の存在を確認しました。また、赤字はそのうち、改変範囲内にいた重要な種です。

※具体的な確認位置は、希少種保護の観点から公開しません。

- 哺乳類 ・ニホンカモシカ ・**ホンシュウカヤネズミ**
- 鳥類 ・**ヤマドリ** ・アカショウビン ・**ハチクマ** ・**カイツブリ** ・アオバト
・クマタカ ・**サンショウクイ** ・ミゾゴイ ・**クロツグミ** ・アオゲラ
・**サシバ** ・サンコウチョウ ・**オシドリ** ・ヨタカ ・**ミサゴ**
・コサメビタキ ・センダイムシクイ ・フクロウ ・**ハイタカ** ・**オオタカ**
・オオムシクイ
- 爬虫類 無し
- 両生類 ・**トノサマガエル**
- 昆虫類 ・**ゲンバイトンボ** ・ウマノオバチ ・**タベサナエ** ・**ヒメタイコウチ**
・**トラフトンボ** ・**ギフチョウ** ・トゲアリ ・**ネグロクサアブ**
・**コオイムシ**
- 魚類 ・**ドジョウ** ・**ミナミメダカ** ・アカザ
- 陸産貝類 ・ヒラベッコウ ・オオウエキビ ・ヒメカサキビ ・Nipponochloritis属の一種
- 底生生物 無し

現地調査の結果、調査範囲内に、以下の重要な種の存在を確認しました。また、赤字はそのうち、改変範囲内にいた重要な種です。

※具体的な確認位置は、希少種保護の観点から公開しません。

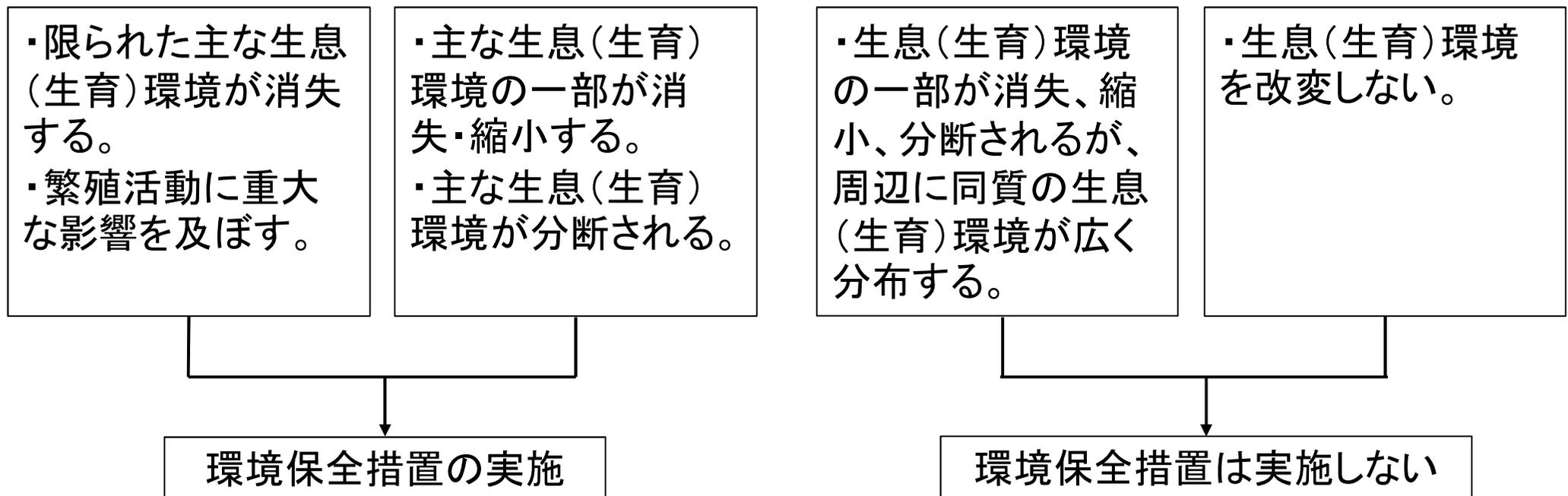
- ・ハナノキ
- ・ウスギヨウラク
- ・マツグミ
- ・ジガバチソウ
- ・ミカワバイケイソウ
- ・シデコブシ
- ・カキノハグサ
- ・ヒメコヌカグサ

検討方法

改変範囲内と改変範囲外にいた重要な種に対して、

- ①主な生息(生育)地の改変の程度
 - ②周辺に同様な生息(生育)環境があるか
- 等の検討を行い、以下の4つに分類しました。

検討結果



他の動植物に対する環境保全措置の実施

- 現地調査で確認された動植物の内、環境影響予測結果と専門家のご意見を踏まえ、以下のように重要な種を保全対象種と位置づけ、環境保全措置を実施する計画です。

動物

保全対象種	環境保全措置（案）
ホンシュウカヤネズミ	類似環境への誘導
サシバ	コンディショニングの実施
ヒメタイコウチ	類似環境への移設
ギフチョウ	ギフチョウの幼虫の食草（ヒメカンアオイ等）を類似環境に移植



植物

保全対象種	環境保全措置（案）
ハナノキ	移植・播種
シデコブシ	移植・播種
カキノハグサ	移植・播種
ヒメコヌカグサ	移植・播種



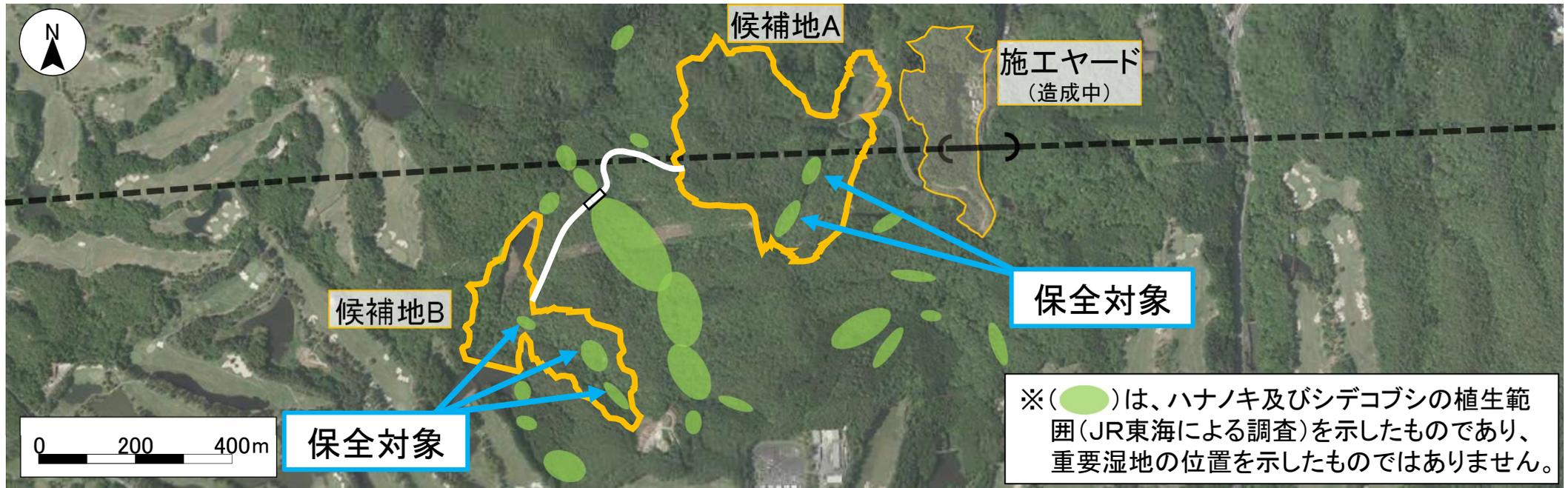
- 保全対象種及び環境保全措置については、今後の専門家のご意見及び岐阜県環境審査会、知事意見を踏まえ、変更となる可能性があります。

- 美佐野ハナノキ湿地群の保全に向けて、当社は有識者のご意見をお聞きしつつ、具体的な対策メニューを検討・策定した上で、御嵩町や地域の皆さまとともに、積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

【対策メニュー(案)】

- ① 改変範囲内に生育する重要種の保全(移植・播種)
- ② 改変範囲外に生育する重要種や湿地群の保全と再生
- ③ 継続的な保全作業のための拠点整備や、訪れた人々が自然と触れ合える憩いの場の創出

① 改変範囲内に生育する重要種の保全(移植・播種)



◇具体的なメニュー(案) ※実施イメージは次ページ参照

- ・移植・播種により重要種の個体数を確保するとともに、
移植先エリアの整備(移植先の選定には、遺伝タイプの保全を考慮)
- ・移植・播種後の生育状況の確認調査

① 改変範囲内に生育する重要種の保全(移植・播種)

・移植・播種のイメージ



移植のイメージ

・移植・播種を行う土地が生育に適しているか、
遺伝タイプを踏まえ事前に調査を実施

・移植・播種後は生育状況の確認調査を実施



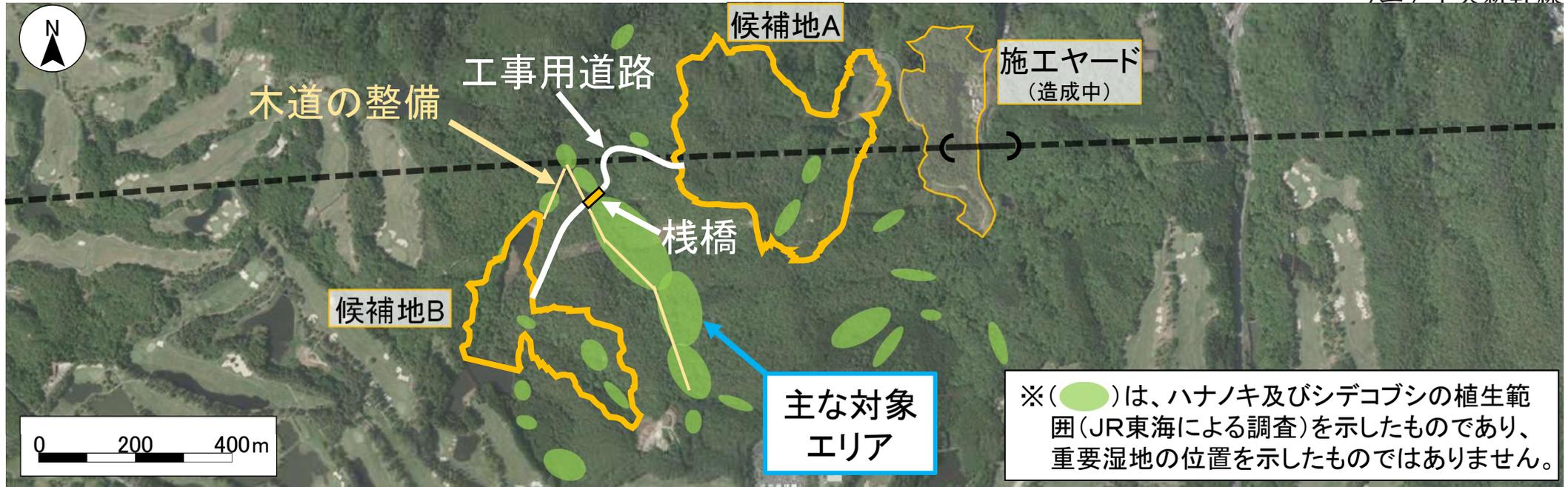
播種後の状況



生育後の状況

播種のイメージ

② 改変範囲外に生育する重要種や湿地群の保全と再生



◇具体的なメニュー(案) ※実施イメージは次ページ参照

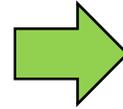
- ・保全作業に必要なアクセスルートの整備
(工事用道路や栈橋を工事完了後も継続して活用)
- ・重要種保全に有効な継続的な間伐(受光伐)等の実施
- ・自然観察や環境教育にも活用できる木道の整備
(保全作業時には通路としても使用、踏み荒らしによる植生への影響を低減)

② 改変範囲外に生育する重要種や湿地群の保全と再生

- ・重要種保全に有効な継続的な間伐(受光伐)等の実施



間伐(受光伐)前
(現状のハナノキ群生地)

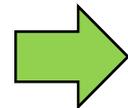


間伐(受光伐)後
(みたけの森 ササユリ群生地)

- ・自然観察や環境教育にも活用できる木道の整備



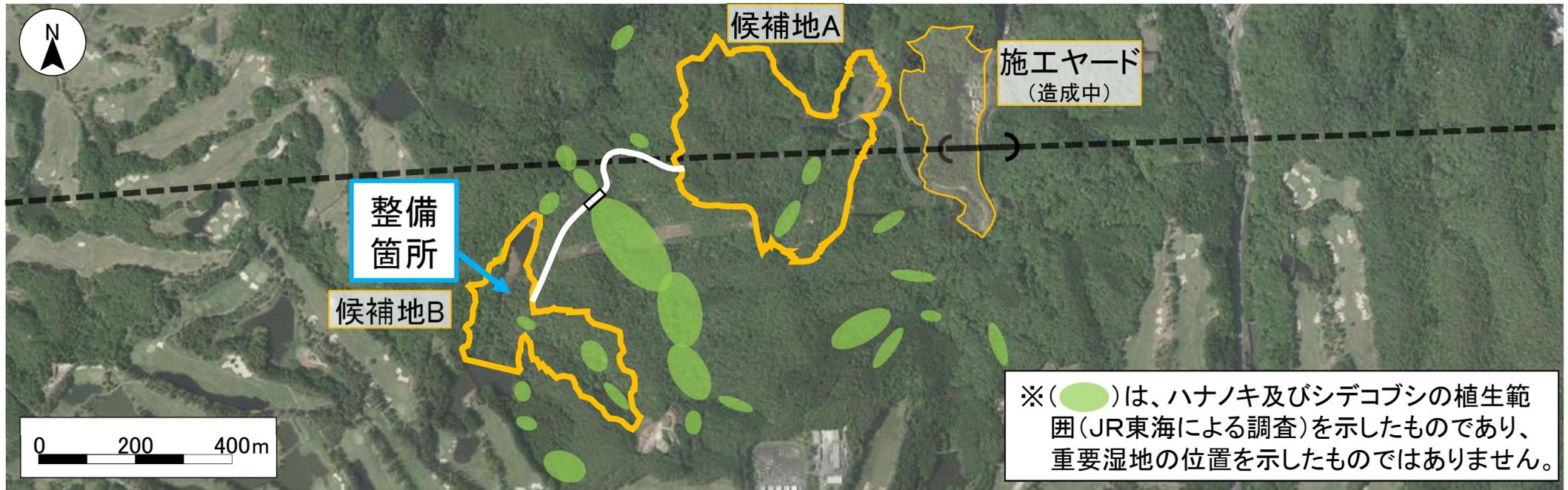
整備前
(現状のハナノキ群生地)



整備後
(みたけの森 高原湿原)

③ 継続的な保全作業のための拠点整備や、訪れた人々が

自然と触れ合える憩いの場の創出



◇具体的なメニュー(案) ※実施イメージは次ページ参照

- ・保全作業に必要な材料や道具の置き場整備
- ・重要種を含む植樹による緑地整備や休憩用ベンチ等の設置
- ・ハナノキ等の生育に適した場所の整備・提供など、保全活動の支援

③ 継続的な保全作業のための拠点整備や、訪れた人々が 自然と触れ合える憩いの場の創出

- ・保全作業に必要な材料や道具の置き場のイメージ(みたけの森)



- ・緑地整備や休憩用ベンチ等の設置のイメージ(みたけの森)



③ 継続的な保全作業のための拠点整備や、訪れた人々が 自然と触れ合える憩いの場の創出

- ・緑地整備のイメージ(東北新幹線 八甲田トンネルでの要対策土置き場(封じ込め)の事例)



出典: 鉄道・運輸施設整備支援機構
環境報告書2021

- ・ハナノキ等の育成に適した場所の整備のイメージ(みたけの森)
※調整池周辺を、ハナノキ等の育成に適した湿地のような状態に整備

